

2023 年度 全国自然保護担当者会議 報告

自然保護委員長 菅井 修 (ちば山の会)

開催場所：長瀬 長瀬荘

会場参加者： 33 名、 Zoom 参加者： 13 名

千葉県からの参加者： 菅井、山本(久)、 安彦 (Zoom)

1 日目:6 月 17 日(土)

・ 13:00 開会挨拶 主 幹： 瀬下啓司 氏(自然保護委員、埼玉県連理事長)

主催者： 山本尚徳 氏(全国自然保護委員長)

・ 13 : 10～記念講演 森 孝順 氏

(元環境省山岳レンジャー、山はみんなの宝クラブ副代表)

テーマ：「地球温暖化による予想以上に進む山岳環境の変化を考える」

- ・ 低山での遭難が多い。道迷い等 自己責任論 ヘリ利用の有料化など
- ・ トイレ問題 使用した紙の持ち帰り
- ・ 野生動物との問題
- ・ 鹿の食害
- ・ 外来植物 など

多岐にわたり今急速に変貌している状況について講演された。

・ 14 : 25～基調報告 浦添 会長

1. 自然保護委員会の昨年の取り組みと今後の方針

2. 地球温暖化で山岳地帯に何が起きているか

高山植物への影響 日本では絶滅の危機 永久凍土の誘拐によるメタン

3. 地球温暖化ガス排出の原因と対策

火力発電 車社会 戦争 脱 CO₂ が大問題

日本政府の方針の誤り アンモニア混合や CO₂ では間に合わない

風力発電や太陽光発電は必要だが、貴重な山岳自然を壊さないこと

「ソーラーシェアリング」の紹介

・ 15 時 05 分～地方連盟からの報告

宮城県 クリーンハイク 交流登山 石巻緑のハイキングロード整備

みちのく潮風トレイル 鹿の食害対策

千葉県 磯根海岸クリーンハイク

埼玉県 クリーンハイク 足尾、埼玉県内の植樹 メガソーラー

長野県 自然保護観察会 湯俣付近 伊藤新道

徳島県 大規模風力発電 鹿の食害

滋賀県 3つの風力発電計画

静岡県 リニア新幹線問題

3～4mm/年隆起する複雑な地質構造

多様な動植物と水の関係 大井川の水利用と歴史

2日目:6月18日(日)

・8時30分～地方連盟からの報告

京都府 北陸新幹線延長計画の現状

丹後大型風力発電

大峰山系の立ち枯れ

奈良県 クリーンハイク 山のトイレ 使用後の神の持ち帰り運動

外来植物 ジギタリス

大阪府 大峰山 立ち枯れ調査

鹿の食害 原油製錬時の有害排出ガスの影響

神奈川県 丹沢クリーンハイク

栃木県 横根山高原風力発電

福島県 原発事故の現在に影響(誌上)

・10:30～ 取りまとめ(山本委員長)

各地方連盟での「問題や課題への取り組み」など大変興味深かった。
千葉県からのクリーンハイク報告は、「今までに無いもの…」として大変興味を持ってもらいました。

会議終了後、大変暑い日でしたが有志で谷筋より宝登山に登り親睦を深めました。

『全国自然保護担当者会議in長瀬』にZoom参加して感じたこと

安彦秀夫(東葛山の会)

『1日目は13:00～17:30、2日目は8:30～10:35』の2日間、パソコンで参加しました。

事前に予稿集が届いていたので目を通しておいたのですが、肝心の『記念講演(講師:森孝順氏)』は、予稿集には掲載されていない資料をプロジェクターでスクリーンに投影しながら講演を行っていたようで、Zoom参加者にとっては、画面共有されていないことに加えて、マイクの音声が聞きづらく、何をどのように話しているのか…が全く分かりませんでした。

Zoomのチャット機能を駆使し、改善をお願いした結果、後半に、講師のパソコン画面を映し出してくれたので、不鮮明ではあったものの画面を見ながら聴くことができました。また、各地方連盟からの報告は、画面共有が不十分でしたが、予稿集を参照しながら聴くことができました。

Zoom参加を今後も採用すると思いますので、もう少し事前準備を丁寧に行い、参加者が気持ちよく会議に参加できるように工夫してほしい…と思いました。

各地方連盟からの報告は、多岐にわたるもので、その地方にとっては切実な課題とは思いますが、全国から参加するのですから、共通のテーマに絞って報告をして欲しかったです。

予稿集の編集に間に合わなかった各地方連盟からの報告は、直前にメール配信されましたが、原稿締切を厳守するように心がけてほしいです。また、報告(発表)する際は、だらだら説明するのではなく、要点を絞ってハッキリ話してほしいです。

自戒を込めて敢えて苦言を書きました。千葉県連でも見習うべき点は見習いたいと思います。

全国自然保護担当者会議に参加して

かがりび山の会 山本久美子

6月17～18日、全国自然保護担当者会議に参加しました。

コロナ禍で3年振りに日本の地質学発祥の地「長瀬」で開催されました。

会場33名、Zoom13名の総計46名の参加者、元環境省山岳レンジャーで講師の森孝順氏による「地球温暖化による予想以上に進む山岳環境の変化を考える」を聴講しました。予想以上の加速で変貌する山岳環境の現状を学び、保全や次世代へ継承の意識改革の必要を感じました。

各地方連盟が抱える問題提起や実績報告など、異なる地域の課題も興味深かったです。



会議終了後は、主管の埼玉県連のエリアである人気の山「宝登山」へ。

長瀬第一小学校前→水池分岐→小鳥峠→宝登山→宝登山神社のコースで「交流山行」が実施されました。

真夏のような暑さの低山登山でしたが、樹林帯の多いコースを歩き、遠方からの参加者には好評で話題も広がりました。

